

# 参院選挙区統一候補に舟山氏



2016年5月15日  
-16号

発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子

<連絡先>  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

## 4野党が確認書

4月17日、日本共産党山形県委員会は、民進党、社民党、新社会党の各県代表と参議院選挙に関わる確認書を取り交わし、山形選挙区で無所属の舟山康江氏（元参院議員）を統一候補として闘うこととしました。日本共産党の選挙区候補の石山ひろ

ゆき氏は比例候補に変更となつて奮闘します。



野党統一候補に決定した舟山やすえ氏（中央）

## 戦争法廃止の国民集会

山形市内で開かれた「戦争法を廃止へ！安倍内閣は退陣を！4・23県民集会」には350人が参加しました。4野党のあいさつやメッセージ紹介、市民団

体代表の訴えがありました。統一候補の舟山氏は「4野党の参院選協定が実現し、たたかう枠組みができました。安倍政権の暴走を続けさせない。山形県から新しい風を起こしていきたい。」と力強く決意表明を行いました。集会後、参加者は市内をパレードし、戦争法廃止を呼びかけました。

## 長時間労働削減

4月25日、26日県議会閉会中委員会審査が行われました。

私は、女性活躍推進法の一般事業主行動計画（女性の労働環境改善のため301人以上の事業所に届出義務）の届出状況とその推進について質しました。富樫弘雇用対策課長は「全国では届け出率71.5%、本県は対象103社のうち85社が届けを出して82.5%で全国14位だった。300人以下の努力義務

## ゆり子の視点

### 参院選勝利を！雨のメーデー

5月1日、第71回山形県中央メーデーが開催され、約300名が集いました。雨の中でしたが、参加者のみなさんの表情は明るく、パレーの背中を押ししました。参加者のみなさんとも元気にスローガンを訴えていました。そして政

5月21日の日本共産党演説会にはぜひご参加ください。

## 母子、父子自立支援員体制充実

子ども支援対策特別委員会  
私は、ひとり親家庭の相談にあずかる母子、父子自立支援員の現状と今後の方向性について質問しました。堀弘幸子ども家庭課長は「母子、父子、自立支援員は現在、13市に1名ずつ13名と県の4総合支庁に2名ずつ8名で合計21名配置されており、非常勤嘱託職員となっており、平成26年度はあわせて19338件の相談受付件数で、計画では設置予定のひとり親家庭支援センター配置の3名とあわせて24名で5年後に約24000件の相談対応を目標としてい

「母子、父子自立支援員について、非常勤を原則とする規定を削除する内容の法改正案が国会に提出されており、動向を注視している」と述べました。私は、「県の計画でも自立支援員の研修を充実する方向だが、専門職として位置づけていく必要があるのではないか。子どもの貧困対策やひとり親家庭支援を担う体制強化や充実について財源確保をしっかりとやる必要がある」と発言しました。



メーデー会場付近で参加者に訴える渡辺県議